

授業 コード	11003	科目名	社会学入門		担当者		永井 純一			
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S2	

【授業概要】

社会学とは「社会」を対象とする学問である。その社会とは端的に人々の集まりであり、その営みや文化、制度など社会学の研究領域は多岐に及んでいる。事の大小はあれども、わたしたちの社会生活すべてが対象であるといっても過言ではないだろう。本講義はそうした社会学の入門編と位置づけ、具体例として身近な問題をとりあげながら社会学の基礎的な知識や概念を身につけ、わたしたちの生活の諸相を考えるための新たな視点を獲得し、論理的な思考能力を養うことを目的とする。

【到達目標】

社会学的思考を身につけ、社会学についての基礎的な知識や概念が説明できる。

【授業方法・計画】

板書と視聴覚メディアを利用した講義形式。印刷物を配付し、ワークシートを利用する。

- |      |                      |
|------|----------------------|
| 第1回  | 社会学とは何か・社会を観察する方法    |
| 第2回  | 社会で生きる「私」            |
| 第3回  | 変容する家族のかたち           |
| 第4回  | 性の多様なあり方を考える         |
| 第5回  | 日本で進展する環境・災害社会学      |
| 第6回  | 社会学から医療を見つめる         |
| 第7回  | 社会学は教育とどう向きあうのか      |
| 第8回  | 逸脱行動と社会問題            |
| 第9回  | 「格差」の社会学             |
| 第10回 | 生活空間としての地域社会         |
| 第11回 | グローバル社会とエスニシティ       |
| 第12回 | 宗教から社会を捉える           |
| 第13回 | 社会の中のメディア/メディアが動かす社会 |
| 第14回 | 国家と社会運動              |

【準備学習・復習】

準備学習：次回のテーマについて、テキストの該当箇所を読み、指示された課題をする(100分)。  
復習：授業内で紹介した参考文献や資料を読む(100分)。

【課題に対するフィードバックの方法】

小レポートは授業の冒頭で執筆し、その内容について後半で解説する。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

成績評価方法	授業時間内におこなう小レポート(60%)、期末レポート(40%)により総合的に評価する。
教科書	『大学生のための社会学入門』 篠原清夫・栗田真樹 編著 晃洋書房
参考書	

CC1102	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----